



昨年より約1週間程遅れて、研修センター周辺の桜が見頃を迎えつつあります。待ちに待った春の到来です。

4月6日撮影

4月に入り、ようやく春らしい暖かい日々が増え、研修センター周辺の桜の木々も綺麗に色付き始めてきています。教室や中庭でも「きょうはいい天気ですねー」「きょうはあたたかいですねー」等の言葉がよく交わされるようになってきました。センター内を行きかう実習生の皆さんの足取りも心なしか軽やかに感じられます。日本では4月から新年度がスタートします。アジ研スタッフも気持ちを新たに、これまで以上に実習生の皆さんの実践的日本語力の向上に取り組んでいきたいと思っています！

## あじけん日本語講師ファイル Vol.11: 松山 智佳子



「アジ研」で外国からの実習生の皆さんに生活習慣を主に教えて1年程になります。初めて日本に来る外国人実習生の皆さんは、故郷とは文化も気候も生活習慣も違う日本で生活するわけですが、日本には昔から“郷に入っては郷に従え”という諺があります。実習生の皆さんがいち早く日本人の生活を知り、慣れ、日本人のように日本の社会道徳や生活のルールを守って、楽しく意義のある技能実習生活を送れるようにすることが私の仕事だと思っています。

### Q1 これまで教えた中でいちばん印象に残っている実習生は？

昨年3月11日の東日本大震災の時教えていた中国山東省から来た10名の女性達です。彼女達は3月9日に来日した僅か2日後に大地震に見舞われました。当時、大勢の中国人は帰国してしまいましたが、この実習生達は、それぞれの目標達成のため、信念を持ち、その後1年間の実習生活を最後まで頑張り通しました。今年の3月9日に帰国する直前、電話をかけてくれました。日本での実習生活は必ずいい思い出になると言っていました。

### Q2 当校の日本語指導において最も大切にしていることは？

どんな勉強でも、毎日の積み重ねが重要なポイントだと思います。中国には「滴水穿石」（雨垂れ石をうがつ）と言う諺があります。実習生達が研修センターで日本語を学べる時間は限られていますが、毎日丁寧に教えたり会話練習をさせたりすることが、実習生の将来にとって、大切な一歩であると信じて、これからも日々努力していきたいと思っています。

## 今月の実習生

今月の実習生は、桜の花をバックに溢れんばかりの笑顔の中国人実習生、趙婷婷さん・張小燕さん・王苗さんです。休み時間に桜の花を話題に雑談していた時に、「私たちは昨日研修センターの近くの公園に行って桜の花と写真を撮りました」と言ってみせてくれたのが右の写真です。日本で桜の花を見るのが夢だったらしく、3人ともとても嬉しそうに公園での花見？の話をしてくれました。



向かって右から趙婷婷さん・張小燕さん・王苗さん

# あじけん流日本語授業

今月のあじけん流日本語授業は、クラスの枠を越えた「交流学习」の実践例をご紹介します。下の写真で自己紹介をしているベトナム人実習生のトゥンさんとミイさんは、ベトナム人同士の少人数クラスで講習を受けてきたため、大人数の前で日本語を話す機会がほとんどありませんでした。そこで、インドネシア人実習生 18 名が学んでいるクラスに 1 時間だけ編入してもらい、大勢の人の前で日本語を話す体験をしてもらいました。授業はロールプレイング形式で行なわれ、2 人には、初めて技能実習先となる会社に行って自己紹介する実習生役を、インドネシア人実習の皆さんには、実習生を迎え入れる事業所の日本人社員役を担当してもらい自由に質疑応答をしてもらいました。気心が知れた同国人同士でのコミュニケーション活動がマンネリ化しつつあったインドネシア人実習生にとってもよい刺激となり、大変活発なコミュニケーション活動となりました。

このような、お互いのクラスの短所を補い合うことが出来る「交流学习」という学習スタイルを今後も積極的に取り入れていこうと思っています。



日本人社員役のインドネシア人実習生を前に自己紹介する NGUYEN THANH TUNG (トゥンさん) 左と NGUYEN VAN MY (ミイさん) 右



自己紹介の後、社長？からの質問攻め！



少し緊張しましたが、たくさんのインドネシア人実習生と日本語で話が出来て、とても楽しかったです。(トゥン)

インドネシア人実習生と初めて会話をしました。とても明るい人たちで、いつもより楽しく会話練習が出来ました。(ミイ)



ベトナム人の実習生との会話練習はとても楽しかったです。

トゥンさんとミイさんは日本語がとても上手だと思いました。私たちも、もっと日本語が上手になるよう頑張りたいです。

社長役？になってたくさん質問してくれた  
インドネシア人実習生の KADEK SUTAMIARSA (タミさん)

